不祥事ゼロに向けた取組【一人一人が「自分事として考える」】R.6.8.21

（文責　大子町立さはら小学校長　相田　清美）

　学校は児童生徒にとって多くのことを学ぶ大切な場所です。そのため、児童にとって安全・安心な場所でなくてはなりません。私たち教職員は、教育活動は、児童生徒や保護者、地域の皆様の信頼のもと成り立つものと考えています。

　しかし、日々の報道でもあるように教職員の不祥事が続いています。本校では、このことを他山の石とせず、すべての教職員が、不祥事を自分事としてとらえ、自分の行動が教育全体に影響することを強く意識し、不祥事ゼロに向けて、行動していきます。

1　令和６年度コンプライアンス研修年間計画

４月	職務上・身分上の義務について	11 月	法令等の遵守
５月	交通事故防止	12 月	飲酒に関わる服務事故、会計事故
６月	体罰の禁止	冬休み	信用失墜行為の禁止
７月	個人情報の管理、会計事故の防止	１月	交通事故の防止
夏休み	長期休業中の服務、盗撮防止	２月	会計事故の防止
９月	体罰の禁止	３月	公文書・個人情報管理
10 月	わいせつ・セクハラ、個人情報管理	年度末	公定帳簿の適切な管理

2　コンプライアンス研修の様子

3　研修資料

One　IBARAKI　各号　、事例

4　教職員の意見等

○盗撮されている側が自分の子どもだったらとか、自分の家族だったらと考え、絶対にあってはならないことだと感じないのだろうか。

○盗撮をしてしまうことは被害者の児童生徒、保護者、地域等に迷惑がかかる。自分は絶対にしない

○もし自分の子どもが被害にあったらと親の立場で考えると、学校や先生を信用できなくなってしまう。SNS で出回ってしまったらと考えると怖い。

○子供たちを守り、正しい方向へ導く立場の教員が、自身の欲を満たすために子供たちを傷つけて

5　対策内容

○教職員一人一人が「自分事」として意識できる研修の継続

○一人で抱え込まず、何でも相談できる職員室の雰囲気づくり

○チェック箇所を明確にした安全点検を複数職員で、計画的に実施

○家族の前で胸を張っていられるよう意識の向上

○「自分は大丈夫だろう」という正常性バイアスで終わりにせず、子供たち、保護者、教職員との接し方の定期的な見直し